

第14回船橋市リハビリセンター運営委員会 議事録

日 時 : 令和2年11月9日 13:00~14:00
場 所 : 船橋市役所 7階 705会議室
出席者 : 鳥海委員、尾崎委員、馬場委員、市川委員、井上委員、吉田委員、
塩原委員、田中委員
市職員 : 健康・高齢部長、健康政策課長、健康政策課長補佐、健康政策課医
療施設係
指定管理者 : 医療法人社団輝生会 水間理事長、江尻地域包括ケア推進部長、高
橋副センター長、加納サポート部長

(1) 指定管理者による令和元年度事業報告について説明

船橋市リハビリセンターの指定管理者である医療法人社団輝生会より令
和元年度事業報告について説明を行った。

◇鳥海委員長

ありがとうございました。ただいまの令和元年度事業報告書につきまして、
ご質問をお受けしたいと思います。

◆市川委員

資料1の19ページ、訪問看護利用者数について、実利用者数101と書いてある
のは、令和元年度の一か月平均の利用者数のことですか。

●指定管理者

実利用者数は、一年間の間に一度でもセンターの訪問看護を利用して頂いた
方という数字になります。

◇鳥海委員長

3年間お辞めになる介護従事者がいないことは素晴らしい。良い職場でない

と結局は利用される方達が良い思いを出来ないですからね。

医療介護現場で難しいことを達成されているなと思います。

また、リハビリのスケジュールで不満が多少出てくるということは、多くの方がもっとリハビリをしたいと思っているということだと思っておりますが、設備、施設の規模等考えると非常に悩ましい問題だと思います。

たとえば、家で出来る宿題を用意して、次お見えいただいた時にどの程度出来たか評価するというのが、意外と家族を巻き込んで成果や満足度が上がります。ご希望が多く施設や設備がやや手狭ということを見ると、そういった事も行うといいかと思いました。

◆田中委員

資料1の44ページ、財務状況の説明について、「平成31年度3月末終了患者が多く、患者数が減ってしまった」と記載がありますが、これは毎年同じような傾向にあるのでしょうか。

●指定管理者

年度末を目標にするケースが重なりがちなところはございます。

2,3月で同時にたくさんの方が終了しますと、4月に利用者がいなくなりますので、患者様の目標を元に終了時期をある程度散らばるように工夫しております。しかし、どうしても区切りがいいところで終了を希望する方がいらっしゃるため、毎年少し多くなってしまいう傾向にあります。

◆田中委員

年度の区切りの良いところで終了となった時に、そのあとの利用者への配慮はどうなりますか。

●指定管理者

冬の間は通所など通いながらリハビリをして、暖かくなってきて自分で動けるようになった段階で終了したいという方も多く、年度末の終了が多い状況で

す。終了した後でも必要があれば、介護保険の方であればケアマネージャーを通して状況の確認を3カ月以内に1度させていただいています。また、何か体調に変化があればこちらに連絡いただくようお願いをして、終了をするという形が多くなっています。

◆井上委員

職員教育にも力を入れており、とても頑張っていると思います。

新型コロナウイルスの関係で利用者数が減ったということがあり、その改善策としては予防策を徹底するということでしたが、新たに予防策で取り組んだことがございましたら教えていただきたいです。やはり職員の方が安心安全で出勤できるような状況でないと、患者さんの満足度にもつながらないと思いますので、教えて頂きたいと思います。

●指定管理者

職員が出勤時点で熱を計るのは基本です。また、訪問の際はマスクの着用と、消毒器具や、必要に応じてゴーグルを必ず持たせています。利用者の中には、呼吸の状態が悪くマスクをしたがらない方がいらっしゃいますので、その場合は飛沫を防ぐためにゴーグルを着用しています。またST（言語聴覚師）の場合、口の中を見る機会も多いので、マスクとフェイスシールドをする、手袋の着用など、そういった感染対策グッズを必ず持たせています。

◇鳥海委員長

悩ましい問題ですが、内科診療とは違い、接触が非常に多い仕事ですので、対策を抜かりなく宜しくお願い致します。

それでは、以上で指定管理者による令和元年度事業報告に関する質疑応答を終了します。

(2) 中期目標達成状況評価（案）

事務局より、中期目標達成状況の評価（案）に対する説明を行った。

◇鳥海委員長

それでは、事務局が作成した評価案について、みなさまからご意見をいただきたいと思います。尾崎先生いかがですか。

◆尾崎委員

目標 11、12 に関してはそれで良いと思います。目標 13 に関しては先ほど保留とおっしゃっていましたが、確かに、力不足で出来なかった訳ではないということなので、今年度に関してはこの設問を外すということも選択の一つかなと思います。

◇鳥海委員長

目標 13 について、悩ましい所ですけれども馬場先生いかがですか。

◆馬場委員

本年度は特別であり、やりたくてもできない状況が続いたかと思っておりますので、目標 13 に関しては尾崎先生と一緒に意見です。

目標 4 について、これだけの職員がずっと長い間務めてくれているのはとても素晴らしいと思います。職場の環境がいいことや、今集まっている職員の資質と云いますか、長いこと勤められる良い職員が集まっているのではないのかなど。この目標はずっと 100% を達成していて、目標値が 30% と低いので、このメンバーなら当分は良い結果が続くのではないかと思っております。

◆吉田委員

目標 13 に関してはお二人と賛成です。

その他の通所リハや訪問看護などいろいろありますが、コロナの感染拡大でこの事業者も厳しい中で、利用者さんもなかなか利用できないという状況が続いていると思うのですが、このコロナ渦の中でこの高い目標設定がどうなのか不安なところです。今の段階でどの程度影響が出ているものなのか、もし分かれば教えて下さい。

●指定管理者

通所リハビリに関しては、当初 3 割減の状況くらいでしたが、徐々に 9 月くらいから増えてきております。10 月くらいからは、以前よりも 1 割減くらいに戻ってきておりますが、また寒くなってきてどうなるかを注視したいと思っております。

訪問リハは、外に出るのを躊躇されている方が訪問を希望しているためなのか、若干増えている気がします。

◆田中委員

目標 1 3 について、令和元年度に拠点事業として目標が設定されている中で、講演会だけが達成出来なかったということで、確実にコロナの影響と言えるのであれば、私としてはそれなりの実績の評価をしても構わないと思っています。

●指定管理者

拠点事業の目標は、市民向け研修会 2 回、講演会 2 回。関係者向け研修会 2 回、講演会 2 回と決まっております、そのうちの関係者向けの講演会を 1 回行えず、関係者向けの研修会は 1 3 回開催したという状況です。

講演会についても準備はほぼ出来ていて、あとは開催するだけという状況でしたが、結果的に出来ませんでした。多くの関係者が協力してくれている事業ですので、出来れば評価の対象にさせていただきたいと思えます。

◆尾崎委員

すみません。先ほど設問をなしとするようなニュアンスを与えてしまいましたが、前年度に項目を設定しているものですので、注記やコメントで対応するという意味で申し上げました。

◇鳥海委員長

わたくし個人の意見としては、このままいくと令和 2 年度の評価において、また同じ状況になり、評価のしようがなくなるのではないかと思います。研修会や講習会など、集まってみんなで行うものは避けた。そこで例えば、WEB 講演会を企画したり、動画を公開したりですとか、想定外の事態にこそ組織の力量が現れるのではないかと思います。動画等配信するなど、やれることはあったのでは

ないのかなと思いますので、不足の事態への対応が足りない分、A評価ということではどうでしょうか。

B評価は下げすぎですが、S評価にするには対応が足りない。こういった判断をすれば、次年度の評価においても重宝すると思います。

◆田中委員

私としては、B評価として、それはこういった状況下だったからです、というのを書いてあげればいいのではないかとも思います。

◆市川委員

今回は、令和元年度の評価をしていると思うのですが、今でこそWEB開催やリモート等で講演会等が実施されていますが、これはコロナの感染が始まったころ、まだみんなが活動を抑えられている時期の中止ですので、B評価は低いのではないかなど。研修会を13回もやっている部分も含めて、もっと評価してもいいのではないかと思います。

◇鳥海委員長

目標13について、評価をするということで皆さんよろしいですか。

それでは、説明をつける必要はあるものとして伺います。出来ることはやったというA評価案に賛成の方挙手お願いします。

<挙手多数>

◇鳥海委員長

それでは、目標13については、A評価にしたいと思います。

それでは、ただいま審議された意見をもちまして、本委員会における令和元年度事業報告及び中期目標達成状況の審議を終了するものとし、船橋市長に対する報告書の作成は、委員長に一任していただくということでよろしいでしょうか。

<異議なしの声>

(3) その他

事務局より、モニタリングの実施状況について説明を行った。また、次回の運営委員会は令和3年7月頃を予定し、今後この予定以外にリハビリセンターの運営について委員会の開催の必要があると判断した場合は、委員長と相談のうえ、臨時に開催の通知をさせていただく場合がある旨、事務局より説明があった。

◇鳥海委員長

ただいま、事務局から次回の運営委員会のスケジュールについて説明がありましたが、委員の方から、他に何かございますか。

◆田中委員

事前にリハビリセンターの見学をさせていただいた際に、新型コロナウイルス3密対策として利用時間を短くして午前・午後2区分を4区分に細分化していると伺いました。

しかし、受付時のお金のお支払いが、現在は人同士のやりとりになっている。これは自動化すべきだと思うのですが、どうなのでしょう。

また、現在の運用では、一回の利用ごとに支払いをする形で、回数券というものがない。民間であれば、10回分で11回出来るというような回数券があるので、自動化する際にそういったところも検討されてはいいかなと思います。

◇鳥海委員長

医療従事者からの意見です。私の診療所も自動会計を検討しましたが、どうしてもお年寄りの方は慣れるまでに戸惑う方が多く、結局職員がカウンターから出てきて手取り足取り、という対応となってしまいます。特にリハビリセンターは高齢者の方が多い施設でもありますので、そこが難しいのかなと思います。自動化はとてもいい案だと思いますが、そういった点から、コロナが落ち着いてから導入を検討した方がいいのかな、と思うところはございます。

また、回数券については、公費の部分でございますので、法的な問題が生じる可能性があるかと思っております。今後の検討事項としていただければと思います。

そのほかに意見はございませんでしょうか。
それでは、本日の議題はすべて終了いたしました。
第14回船橋市リハビリセンター運営委員会を閉会します。

<終了>